

# 京都外国語大学 ラテンアメリカ研究所 紀要

## 2020

### <論文>

- Cambios diacrónicos en las actividades relacionadas con la obsidiana y su intervención por el Estado teotihuacano  
..... 嘉 幡 茂 1
- Sistemas de abastecimiento de obsidiana entre el Estado teotihuacano y las sociedades del valle de Toluca  
..... 嘉 幡 茂、ホセ・ルイス・ルバルカバ・シル、  
フリエタ・マルガリータ・ロベス・フアレス 29
- ミチョアカン州プレベチャ高原地区の「共同体的先住民自治」  
..... 小 林 致 広 61

### <研究ノート>

- メキシコ湾岸地方におけるユーゴ、アチャ、パルマと呼ばれる石製品の研究  
—ベラクルス州中部地方における発掘出土資料の分析から—  
..... 黒 崎 充 89
- マヤ南東部地域、チャルチュアパ遺跡タスマル地区に遺る B1-1  
複合建造物群の時期による変遷について  
..... 柴 田 潮 音 111
- 戦前日本におけるラテンアメリカ研究(Ⅱ)  
—大正末期～戦前昭和期における移民研究の進展—  
..... 辻 豊 治 143

### <調査研究報告>

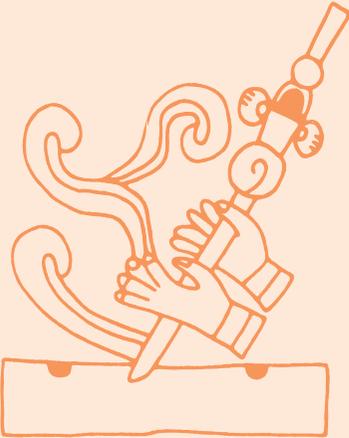
- Excavation at Nixtun-Ch'ich', Guatemala: Exploring the  
Material Culture of the Chak'an Itza  
..... 白 鳥 祐 子 167
- ニカラグアのカリブ海側における岩刻画の考古学調査および  
コミュニティ・ミュージアム活動に向けた研究  
..... 深 谷 岬、南 博 史、嘉 幡 茂、川 嶋 まどか 193
- 南米ボリビアのラパス県溪谷部のアイマラ語口承テキストとその考察  
—近隣の村に実在した蛇娘の伝承—  
..... 藤 田 護 215

### <研究展望・動向>

- メキシコの地方選挙における野党台頭の始まり  
—バハ・カリフォルニア州の地方選挙の事例—  
..... 吉 野 達 也 243

### <書評>

- 林 義勝著『スペイン・アメリカ・キューバ・フィリピン戦争—マッキンリーと帝国への道』  
..... 牛 島 万 249



## 〈調査研究報告〉

# 南米ボリビアのラパス県溪谷部のアイマラ語口承テキストと その考察

—— 近隣の村に実在した蛇娘の伝承 ——

アスンタ・タピア・デ・アルバレス (Asunta Tapia de Álvarez) (語り)

藤田 護 (聞き起こし、翻訳、考察) \*

## 1 はじめに

本稿は、藤田 (2016) に続き、ラ・パス市の郊外の溪谷部農村であるリオ・アバホ地方 (行政区分はラ・パス県ムリーヨ郡 (Provincia Murillo, Departamento de La Paz)) で、筆者が2009年から記録を始めたアイマラ語の口承文学のテキストを、原文対訳で公刊するものである。

前稿においては、若い娘が蛇と恋仲になり、蛇の子どもを産むが、父親に子蛇たちを殺され、その結果村全体が蛇の呪いかけられるという、アイマラ語圏で広域に知られているチョケル・カミル・ウィルニータ (Chuqil Qamir Wirnita) の物語の3つの異なる録音をとりあげた。本稿では、女性が蛇と一夜を共にして、この蛇の子どもを産むが、そこで死んでしまうという物語をとりあげる。この物語の場合には、この女性が死んでも話が続き、実在の人物をもとに現実にあった出来事を語る、という展開を見せる点が独特である。これらの口承の物語がもつ現実との対応関係については、藤田 (2014) で考察を加えたことがある。

チョケル・カミル・ウィルニータの物語は、他にも複数のテキストが公刊されている。今回とりあげる物語は、リオ・アバホ地方ではよく知られているようだが、これまで地元の範囲を越えて知られてはいない。

以下は、この物語の梗概、考察、原文対訳テキストの順に進めることとする。

## 2 梗概、考察、原文対訳

### 2-1 梗概

コリャーナ (Qullana) の村に、ある夫婦が暮らしていた。夫は標高が低い方角にあるタカチヤ (Taqachiya) の村に農作業の手伝いに行くが、その夜、夫に瓜二つの不思議な男が現れる。女は不審に思いつつも、その男を夫だと思い、迎え入れて食事をし、一緒に寝る。翌朝起きてみると、その男はいなくなっており、しばらくして本物の夫が帰ってきて、愛人を引き入れていただろうと妻をなじる。その後、妻は妊娠して子どもを産むが、子どもを見てすぐに死んでしまう。

その生まれた娘は、おばによって育てられていたが、よくこの [語り手であるアスンタの] 家にも遊びに来ていた。肌が真っ白で、蛇のような丸い目をしていて、眺めていると腹を立てた。ある日、おばがコカを入れる布を忘れて出かけ、取りに帰ると、留守番をしていたはずの娘がおらず、蛇がとぐろを巻いて寝ていた。不審に思いつつも一度出かけ、戻ってくると、また娘が

---

\* アンデス・オーラルヒストリー工房 (Taller de Historia Oral Andina)、慶應義塾大学

普通に出迎えてくれた。

## 2-2 考察

本稿で提示するテキストの元になる録音は、アスンタ・タピア・デ・アルバレス (Asunta Tapia de Álvarez, 1937年8月15日ラ・パス県キリワヤ (Quilihuaya) 村の生まれ) が、それぞれ2009年7月26日と10月11日に、聞き手である藤田に対して語ったものである (それぞれ、物語整理番号 AT-01-1 および AT-01-2、録音整理番号 AT20090726、AT20091011-2)。録音は藤田が聞き起こし、スペイン語への翻訳を行ったうえで、ポリビア・ラパス市の、アイマラ言語文化研究所 (Instituto de Lengua y Cultura Aymara, ILCA) のファン・デ・ディオス・ヤピータ (Juan de Dios Yapita) と、アンデス・オーラルヒストリー工房 (Taller de Historia Oral Andina, THOA) のフィロメナ・ニナ・ワルカッチョ (Filomena Nina Huaracacho) とともに、音声と聞き起こしと翻訳を点検し、不明箇所を確認する機会を得た<sup>1)</sup>。

梗概からもみてとれるように、この物語は伝承と実話を組み合わせたような、興味深い二部構成をしている。前半では、夫婦の妻の方が、夫の留守中に見知らぬ男 (これが実際には蛇であったことが示唆されている) と関係をもってしまう、その男との間に子を出産するが、産んですぐに死んでしまう、ということが伝承として語られる。後半では、その子どもがおばに連れられてアスンタの家も訪れたことがあり、おばの話から、娘が時おり蛇に姿を変えるのではないかという疑惑があることが、実話として語られる。この伝承と実話の区別は文法的に明確な形で示され、一般的にいわれる「口承文学」と「オーラルヒストリー」の区別と対応させることができる。

この村に実在した蛇娘の伝承は、藤田 (2016) で示したチョケル・カミル・ウィルニータの物語とほぼ同時期に、アスンタが語ったものである。本稿で示す実在した蛇娘の語りの二つのバージョンのうちの一つめは、チョケル・カミル・ウィルニータの物語をアイマラ語で語ってもらった後に、雑談をする中で、[それ以前に一回目の録音をしていた] この実際にあった蛇の物語の話題になり、もう一度アスンタが同じ話を簡単に語りなおしてくれたものである。一回目の録音がアイマラ語とスペイン語を行ったり来たりしているのに対し (この点に関しては以下で再度議論する)、二回目の録音は全体がアイマラ語で語られているが、物語の前半に相当する部分をカバーし、後半の冒頭部分に相当する、母親の死後に娘を誰が育てているのかを述べたところで、語りが終わっている。

上述の構成を反映して、この語りには興味深い言語としての特徴が現れている。アイマラ語には、直接自分で体験し、確証をもって語られる事柄を示す直接証拠性 (evidencialidad directa) と、人から伝え聞いたり、自分では当初気づいていなかったが後から気づいた事柄を示す間接証拠性 (evidencialidad indirecta) を区別する文法形式が備わっている。動詞の活用 (屈折) の種類では、単純形 (forma simple) (または現在・過去形 (pasado presente)) と近接過去 (remoto cercano) が直接証拠性を担い、遠隔過去 (remoto lejano) が間接証拠性を担う。語りの中で最も頻繁に現れる3人称単数の形を示すならば、単純形 (または現在・過去形) が *-i* または *-u*、近接過去が *-än*、遠隔過去が *-tayna* または *-täna* という語尾をもつ。なお、このテキストでは、会話文の中で珍しく近接過去の2人称単数の形が使われており、これは *-yäta* という語尾をもつ。詳しくは原文対訳に注を付ける形で示すが、物語が前半から後半に移行する際には、動詞の活用 (屈折) の種類が、間接証拠性を担う形式から直接証拠性を担う形式へと変化している。二回目の録音も、後

半の具体的なエピソードは語られないが、遺された娘を誰が育てているかを語る際に、実際にあった話だと分かるように、動詞の活用（屈折）の種類が同様に変わっていることがみてとれる。

アスタの住む、チョケヤブ川の形成するリオ・アバホの溪谷沿いに位置するユーパンパ（Yupampa）村と、ここでの物語の舞台になっている山の上にあるコリヤーナ（Qullana）村は、従来は標高差を利用した物々交換（trueque）の関係にあった<sup>2)</sup>。溪谷部は標高が低く温暖で、果物の生産地であるが、コリヤーナ村では冬に霜が降るので、それを利用してイモの乾燥保存食が作られているようだ。果物は足が早いので、一部は乾燥させ、アイマラ語ではキサ（k'isa）と呼ばれるドライフルーツにしつつも、その多くは物々交換を通じてイモやイモの乾燥保存食を手に入れるために用いられる<sup>3)</sup>。藤田がアスタの語りを録音するようになった当初は、まだコリヤーナ（Qullana）村から物々交換におりてくる人がいて、その物々交換の際に情報交換と併せて互いに知っている物語を語り合ったこともあるということであった。したがって、それほど物理的に近くはないが、人づてに情報を様々に聞くことがある距離にある村だ、ということになるだろう<sup>4)</sup>。

この物語に出てくる色が白く、目の丸い女の子は、地域では有名な存在であるらしいことが後から分かってきた。ユーパンパ村に隣接するメカパカ（Mecapaca）市での、2012年の死者の日（トードス・サントス：毎年11月初頭に祝われる）の準備の際に、女性たちと、その家で使用人として働くペドロ・サラビア・パロミーノ（Pedro Saravia Palomino）が、台所に集まって料理を進めているあいだ<sup>5)</sup>、私がいろいろと地域の伝承を聞いていることが話題になり、そこでこのコリヤーナの女性の話になった。物語では少女として出てくるこの女性は、既に成人しており、学校の先生と結婚したのだそうで、その時点ではアルゼンチンへと出稼ぎに行っているとのことであった。また、アンデス高地では先住民社会でアルビーノの、すなわちメラニンをもたず皮膚が白くなる者を、日常生活では一定の頻度で見かけるため、この場合もアルビーノの女の子が生まれたことが注目を集めたのだと考えることができそうだ。

いずれにしても、現代においても、少し離れた土地の出来事で、立ち入った事情を聴くことが難しく、または医学的・科学的な理解が困難な現実を理解しようとしたときには、口承文学が躍動し、新たな物語が作られていくことになるようだ。これは、一方では、共同体にとっての異質な存在を畏怖し、場合によっては排除しようとする傾向につながる可能性がある。しかし、他方では、動物たちが人間に姿を変えつつ行き交う世界を、アイマラの人々は現代でも身近なものとして生きており、偶発的な出来事に対し、それをそのもう一つの世界との接触として理解するという語りの実践が行われているのだ。その実践は、伝承されてきて、よく知られている物語だけでなく、比較的最近の出来事であったらしい事柄についても発揮されていることが、本稿で示す物語から分かってくる。

この物語には、もう一つの地理的な特徴がある。人々のあいだでは、蛇は今いる村よりも少し標高が低い土地に生息すると考えられている。藤田（2016）において示されたチョケル・カミル・ウィルニータの物語については、具体的な村の名前は語られないが、その村はチョケヤブ川の下流に向かった先にある村だと考えられている。本稿でとりあげる物語においても、夫が向かうタカチャ村は、山の上ではあっても、コリヤーナ村からみると標高が低い方向へと向かった隣の村である。ここでも標高が低い方角から蛇がやってくると思われている。標高の高い土地に住む人々にとって、低地の存在は他者であり、不気味な力をもった計り知れない存在であることが、こ

から読みとれる。

この物語の1回目の録音は、藤田(2016)でとり上げたチョケル・カミル・ウィルニータの物語よりも早い段階で語ってもらっており、藤田がアスンタに語ってもらった最初の物語である。そのため、最初のバージョンには、それ以降の録音には見られない特徴が幾つかある。まず、アスンタがアイマラ語で藤田に向かって語り慣れていないために、アイマラ語で語り始めてもすぐに(アンデス・)スペイン語に移行し、語りが両言語の間を行ったり来たりし続けている。これは、藤田のアイマラ語を使う能力がそれほど高くなかったことが影響しているが、同時に、村の外の世界からやってくるアイマラではない男性に対して基本的にアイマラ語では話さない、という社会言語学的状況も影響しているであろう。しかし、この結果として、同じ文をアイマラ語と(アンデス・)スペイン語で語っている箇所が随所に存在し、アスンタ自身の意識において両言語がどのように対応しているかを伺い知ることができるという意味で、珍しい記録となっている。筆者はその他の録音過程においても、なるべくアイマラ語と(アンデス・)スペイン語の両方で同じ内容を語ってもらうようにしているが、同じ語りの中で言語間を語り手が揺れ動くものは、これ以外にはごく僅かしかない<sup>6)</sup>。

以下では、地の文の語りにおける動詞の活用(屈折)について、アスンタ自身の言葉のなかでのアイマラ語とスペイン語の対応を、このテキストからどこまで確認できるかを示しておくこととしたい(Fujita 2019)。この点は、先行するアイマラ語(Coler 2014; Hardman, Vásquez y Yapita 2001[1974])やアンデス・スペイン語の文法記述(Mendoza 1992; Stratford 1989)でも、アイマラ語の遠隔過去がスペイン語の過去完了に相当するという、よく知られた点以外は、体系的な記述あるいは見解の一致が見られない。該当するアイマラ語の活用(屈折)の接尾辞(上述)には下線を引いて示し、対応するスペイン語の動詞の形をイタリック(斜体)にして示す。

#### 単純形または現在・過去形

(1) Ä..., janiw, carajo awila mierdas. No *he llegado*, janiw purinktti.

(ああ、ちがうぞこん畜生くそばばあ。おれは帰ってきてない、おれは帰ってきてない。)

アイマラ語の単純形は、現在のことだけでなく近い過去のことを示すことができ、そこからもう一つの現在・過去形という名称があるが、この近い過去を示す場合にスペイン語の現在完了と対応していることがみてとれる。アンデス・スペイン語では、定型化したごく少数の場合を除いては点過去の形が用いられないようで、アスンタはほぼすべての語りにおいて、現在完了か、下で近接過去形に対応するものとして示す線過去を用いている<sup>7)</sup>。

#### 近接過去形

(2) Dice que tenía su tía pues, hablaba, *venía* aquí, *jutānay* akarux ukat qunt'asiskir akar, pera waxt'asipkir, pera recogiendo, sabe estar comiendo.

(彼女にはおばがいたんだとき、[私たちと]話して、ここに来て、ここに来たんだ、そしてここによく座ってたんだ。いつもわたしがナシをあげたり、ナシをとったりして、いつも食べていたんだ。)

この例からは、アイマラ語の近接過去形がアンデス・スペイン語の線過去形と対応させられることが確認できる。アイマラ語の近接過去は、自分が直接体験した、しかし現在からはある程度離れた、過去を語る。この点について、Gallego(2008[1994])は、アイマラ語の近接過去はスペイン語の線過去に対応させられることが多いが、場合によっては現在完了(や点過去)と対応

させられることもあると述べている (Gallego 2008[1994]:169)。Hardman, Vásquez y Yapita (2001[1974]) は、この形がスペイン語の現在完了と対応するとしか述べていない (Hardman, Vásquez y Yapita)<sup>8)</sup>。

### 遠隔過去形

(3) La mujer se *había quedao*, *warmi kirasxatayn*, *kirasxatayn* warmix, *sapak kirasitayn*.

(女はそこに残ったんだと、女はそこに残ったんだと、女はそこに残ったんだと、たった一人で残ったんだと。)

アイマラ語の遠隔過去形は、伝聞を通じて知っているか、気づいていなかったことに気づいたことを示す際に用いられる。これは以前より、スペイン語の過去完了と対応することが指摘されているが、ここの例からもそれが確認できる。この点は、スペイン語の文法で一般的に想定される過去完了の用法とは異なる。しかし、スペイン語の過去完了に気づきを示す用法があることは広域的な特徴としてあり、この点がスペイン語の側で言語接触を通じこのように用いられるようになる素地を提供したのではないかという議論が、同様の直接証拠性と間接証拠性の区別と動詞の活用 (屈折) をもつケチュア語の場合で試みられている (García Tesoro 2018)。

あらためて録音を聞きつつ聞き起こしたテキストを確認すると、一回目の録音では、アスタの語りに繰り返しが多くなることに気づく。同じ内容を語っている二回目の録音の方が、同じ内容がはるかに短く語られている。元々、アスタの語りは、物語の聴きどころに相当する部分で繰り返しが多くなる傾向があり、本稿の二つめのテキストをみると、この物語でアスタがどこを強調しようとしているかが分かり易い。しかし、この一回目の語りの場合、聞き手である藤田が理解しているかどうかを、念入りに確認しているのであろう。後のアスタの語りの記録からは、ここまで述べてきたような二つの言語の行き来や、ひたすら繰り返すするという特徴は見られなくなるが、一番最初の録音の記録は、それ自体の特徴と価値をもっているということになりそうだ。

しかし同時に、二回目の録音では、アスタは動詞の活用 (屈折) として、推量の形式 (「非関与 no-involucrador」と呼ばれる) を多用しているのに対し、一回目の録音ではこれが一回も見られないことを指摘できる。この推量形は、動詞の活用に *-chi* という形をもつので、すぐに聞き分ける・見分けることができる。本来アスタの語りは、口承の物語の場合には、(二回目の録音のように) 伝聞にもとづく間接証拠の形式と、推量の形式を織り交ぜて進んでいくのが特徴である。筆者はこれを、物語の骨格部分は伝承された型で構成しつつ、推量の形式を組み合わせることで、その間を埋め、豊かに話を彩っているのではないかと考えている (Fujita 2016)。この推量の形式には、対応するアンデス・スペイン語の形が存在するかどうかは明らかではない<sup>9)</sup>。この部分は、話者の中でもアイマラ語とアンデス・スペイン語の間で対応が明確になっていない形式かもしれない。とすれば、アンデス・スペイン語とアイマラ語のあいだを行ったり来たりする語りになったことで、一回目の語りでは、この推量の形式が使われなくなったのかもしれない。

以上をまとめると、本稿で示すテキストには、語られる内容が現実に近いという特徴からくる珍しさと、アイマラ語とアンデス・スペイン語を行き来する語り手の語り方からくる珍しさがあり、アイマラ語の口承の語りの文体について多くの示唆を与えてくれる。本論考でも掲げたアイマラ語の文法記述の既存研究に比べると、アイマラ語の口承の語りについての研究は、まだほとんど進んでおらず、一つ一つのテキストに臨床的に向き合う他ないが、間接証拠性を示す形式を

多用する語りにおいては、その語りにおける動詞の活用（屈折）の種類組み合わせが比較的安定していることが分かってきており、この定式化された形式をどのように語りの理論として理解するか、という課題をさらに推し進める準備が整いつつあると言ってよいであろう。また、本稿でも語りの後半部に現われる直接証拠性を多用する語りについては、依然としてその語りの特徴の定式化が十分に達成されておらず、他のオーラルヒストリーの録音などと比較・検討しながら文体の特徴の明確化に取り組むことが必要である。この後者の課題については、本稿のテキストの中に占める分量も少なく、まだ十分に明らかになったとは言いづらい。今後の課題としたい。

### 2-3 原文対訳

以下のテキストでは、アイマラ語、直訳調のアンデス・スペイン語訳、日本語訳の順番で配置する。一行全体がアンデス・スペイン語で語られている際には、原文と日本語訳のみを載せることとするが、一行の中にアイマラ語とアンデス・スペイン語が混在しているときは、アンデス・スペイン語訳の部分で原文もアンデス・スペイン語である箇所を [ ] で括り、アイマラ語からの訳と区別することにする。

スペイン語訳は、アイマラ語からのなるべく忠実な直訳となるようにし、アイマラ語の接尾辞をなるべく全て反映するような訳を試みており、聞き起こしを手伝ってもらった上記二人とともに確認をした。これは、Espejo Ayca (1994)などを契機として、アンデスの口承文学の原文対訳では広く行われるようになった慣行である。語順や文法などが、一般的に教科書で学ばれるスペイン語とは異なるが、アンデス地域で話されるスペイン語が分かり、アイマラ語を学ぼうとする場合においては、このような翻訳の方が有益であり<sup>10)</sup>、かつ先住民語との言語接触から生まれたアンデス・スペイン語の社会的地位の向上にも資するため、このような方法を選択している。日本語訳においても、アイマラ語の接尾辞や動詞の活用のニュアンスが、できるだけ反映されるようにし、例えば伝聞を示す接尾辞が使われている際は「～だと」などをそれぞれ付すようにし、推量表現が原文に存在する場合にも必ず訳に反映されるようにしたが、同時に、あまり不自然になり、読みにくくならないようにも心がけた。

アンデス地域の先住民言語と接触するスペイン語においては、語順がアンデス先住民言語の影響を受け、目的語を示す人称代名詞がしばしば省略され、またアスンタの場合には、幾つかの前置詞を使わないで話すことが多い。これらの特徴は、決してスペイン語の「誤り」ではないことは強調しておきたい。ただし同時に、依然として聞き取りに間違いがある可能性も否定できず、これについてはひとえに藤田の責任である。

村にきていた蛇娘（その1——アスンタ・タピア・デ・アルバレス）

録音年月日——2009年7月26日

録音場所——リオ・アバホ地方ユーパンパ村のアスンタの自宅の中庭で

Tuna jat'iripi<sup>11)</sup> sarapxataynax uka... uka... isti... marido y mujer habían ido,<sup>12)</sup>

A aporcar tuna habían ido ese... ese... [este..., marido y mujer habían ido,]

トウナ[果物として「実」を食べるサボテン]の土寄せをしに行っただと。その……夫と妻が行っ

たんだと。

jat'ir tuna, aporgar se dice, jat'ir tuna, de Aymara, jat'ir tuna,  
a aporcar tuna, [aporcar se dice,] a aporcar tuna [de Aymara], a aporcar tuna,  
トゥナの土寄せをしに、aporgar っていうんだ、アイマラ語では jat'ir tuna、トゥナの土寄せをしに、

y ahí al hombre a ver... satānax,<sup>13)</sup>  
[y ahí al hombre a ver...] había dicho,  
そしてそこで男に、ええと、言ったんだと。

“voy a ir Taqachiya” diciendo, Taqachiya, “sarāw Taqachiyaruw” satānaw,<sup>14)</sup>  
[“voy a ir a Taqachiya” diciendo, Taqachiya,] “iré a Taqachiya” había dicho,  
[夫の方が]「おれはタカチヤに行くよ」と、タカチヤ、「タカチヤに行くよ」と言ったんだと、

“sarā Taqachiyaruw, visitir mä irmanur” satānaw.<sup>15)</sup>  
“iré a Taqachiya a visitar a un hermano” había dicho.  
「おれはタカチヤに行くよ、神父さんを訪ねにね」と言ったんだと。

Ukat “ya”,  
Después “ya”,  
そして [妻は]「分かったよ」

“ratitu ukham mistsunxä, nayax tardix purinxäw, las cinco purinxäw” satānax.  
“rápido así voy a salir, yo ya voy a llegar en la tarde, a las cinco ya voy a llegar” había dicho.  
「すぐに帰ってくるよ、おれは午後にはもう着くよ、5時にはもう着くよ」と言ったんだと。

“Ya” siw.  
“Ya” ha dicho.  
[妻は]「分かったよ」と言ったんだ。

La mujer se había quedaw, warmi kirasxatayn, kirasxatayn warmix, sapak kirasitayn,  
[La mujer se había quedado,] la mujer ya se había quedado, ya se había quedado la mujer, solita  
nomás se había quedado,  
女はそこに残ったんだと、女はそこに残ったんだと、女はそこに残ったんだと、一人だけで残ったんだと。

ukat animalanakamp ukham.  
después con los animales así.  
そして動物たちとこういふふう。

Ukürux jani purxatänatix, jani purxatänat,  
Ese día ya no había llegado, ya no había llegado,  
その日のうちには、[夫は] 帰ってこなかったんだと、帰ってこなかったんだと

utap ukarux “purinxäw las sinkuw” satänax. Jani purxatänati.  
a su casa ahí “voy a llegar a las cinco” había dicho. Ya no había llegado.  
その家に「もう5時にはおれは着くよ」と言ったんだと。帰ってこなかったんだと。

Jan purisaxa, “(ji) chha kamacharakpachäst” sas niyaä las tiys la noche por ahí,  
Cuando no llega, “y ahora, qué voy a hacer pues” diciendo ya [las diez de la noche por ahí  
帰ってこないの、「さて、どうしようかな」と、もう夜の10時くらいになって、

había parecido<sup>16)</sup> un hombre, igualito que...,  
había aparecido un hombre, igualito que...,]  
一人の男が現れたんだと。ほんとにそっくりの……

chachapamp<sup>17)</sup> kipkak, chachapamp kipkakiiniw parisitayn mä chachax,  
igual nomás como su marido, igual nomás siempre con su marido había aparecido un hombre,  
夫にもうそっくりの、彼女の夫にもう本当にそっくりで現れたんだと、一人の男が。

chachapamp kipkakiin parisitayn.  
con su marido igual nomás siempre había aparecido.  
彼女の夫にもう本当にそっくりで現れたんだと。

Y... le había dicho. “Jutxtati” había dicho. “Sí” había dicho.  
[Y... le había dicho.] “¿Has llegado ya?” [había dicho. “Sí” había dicho.]  
そして [妻は] 彼に言ったんだと、「もう着いたのかい」と言ったんだと、「そうだよ」と [その  
男は] 言ったんだと。

Es que no mira así<sup>18)</sup>, así nomás alintata<sup>19)</sup>, es que... no... no mira.  
Es que no mira así, así nomás] agachado, [es que... no... no mira.]  
というのもこう [面と向かって] 見ないんだと、こうずっとうつむいて、見ないんだよ。

“¿Sí?, ¿qué cosa has hecho pues? Las cinco voy a llegar has dicho.”<sup>20)</sup>  
「どういふこと？何してたのよ？5時には着くって言ったじゃない。

¿No has llegado las cincö?<sup>21)</sup> ” diciendo.  
5時に着かなかったじゃない」と。

“Nnn...No, wali istinakaw... ayuraskarakt irmanuru.

“Nnn... No.] Muchos estos... he estado ayudando también al hermano,

「うーん、いや、すごくその……神父さまを手伝っていたんだよ。

‘Ayurt’it’ saw situ, ukat ayuraskt<sup>22)</sup>. Ukat jan jutktt.”

‘ayudame’ diciendo me ha dicho, por eso estaba ayudando, por eso no he venido.”

『手伝ってくれ』とおれに言ったから、手伝っていたんだよ、それで帰れなかったんだ」

“A...” siw. Ukham.

“Ah...” dice. Así.

「ああそう」と[妻は]言った。そういうことだ。

Entonces, habían comi..., manq’asipxatayn,

[Entonces habían comi...] se habían comido,

そして一緒に食事をしたんだそうだ、

“manq’asiñan” s(a)s manq’asipxatän.

“nos comeremos” diciendo se habían comido.<sup>23)</sup>

「食事にしましょう」と言いながら、食事をしたのだそうだ。

Ya manq’asisina mä ikintxatapxatayn “ikxañan” sas ikintxapxatän.

Ya comiendo ya se habían dormido, “nos dormiremos” diciendo ya se habían dormido.

もう食事をして、そしてもう寝たんだそうだ。「寝ましょう」と言いながら寝たのだそうだ。

Ikintasinxa, cuando..., ikintasax, ikxapxatayn.

Durmiendo, cuando..., durmiendo, ya habían dormido.

寝て、寝て……、一緒にもう寝たのだそうだ。

Qhipärumirj<sup>24)</sup> alwa sartatayn warmix, las seis de la mañana,

En la mañana siguiente al amaecer se había levantado la mujer, [las seis de la mañana,]

翌朝は明け方に女は起きたのだそうだ、朝の6時に、

ch’amakthap<sup>25)</sup> las cinco dice, las seis..., ¿las cinco dice?, sartatän.

a la oscuridad todavía [las cinco dice, las seis... ¿las cinco dice?] se había levantado.

まだ暗くて、5時だという、6時…5時だって？ [女は] 起きたのだそうだ。

“Kunas utjkit, chhaqhät...”

“No hay nada, perdido...”

「からっぽだ、いなくなっちゃった」

Las...<sup>26)</sup> se ha parecido, el hombre.<sup>27)</sup>

その男が現れたんだ。

“Ratukit mistsuwayxpachä, kaw(k)rak sarpachä” sas  
“¿Rápido habrá salido? ¿Dónde habrá ido?” diciendo,  
「すぐに出ていったのかな? どこに行ったんだろう」と

“kaw(k)ra(k)sarpachästi, akan ikisipkarakiyäsä” satänaw,  
“dónde habrá ido pues, en aquí estábamos durmiendo también” había dicho.  
「どこに行ったんだろう。ここで寝ていたのにな」と言ったのだと。

“ay... chhaqhatarakisä” sas.  
“Ay... está perdido también” diciendo.  
「ああ、いなくなっちゃったなあ」と。

Cuando después, después de la mañana, las ocho y media, nueve por allí,  
そして朝が終わり、8時半か9時くらいに、

uk nuivipachaw siw, ukat purinx sipi purinx chachax, purinxatayna.  
ese ha debido ser como a las nueve, dice, después ya ha llegado, dice pues, ya ha llegado el marido,  
ya había llegado.  
それは9時くらいだったんだとき、そして帰ってきたんだとき、夫が帰ってきたんだ、夫が帰っ  
てきたんだと。

“Chhaqät..., ä...” ukat warmix satänax ukat  
“Perdido está... ah...” después la mujer había dicho, y  
「いなくなっちゃった……あ、[戻ってきた]」そして女は言ったんだと、そして

“kawkrak sarktasti, jichharumanthi purinxarakiyätast,  
“¿y dónde pues has salido?, y esta mañana llegabas ya,  
「で、どこに行ってたのよ。今朝にはもう帰ってきてたのに。

janirakis purinkt, chhaqatäxarakitätasä,  
no has llegado también, perdido ya también habías estado pues,  
戻ってこなかったじゃない、どこに行ったかもう分からなくなっちゃってさ。

kawks mistsuwayta” siw.  
¿dónde has salido (de paso)?” ha dicho.  
どこにちょっとのあいだ出ていったのよ?」と言った。

“Ä..., janiw karaju awila mierdas.

“Ah... no, carajo abuela de mierda.

「ああ、ちがうぞこん畜生、くそばばあ。

No he llegado, janiw purinktti.

[No he llegado,] no he llegado.

おれは帰ってきてない、おれは帰ってきてない。

Jichhaw nayax... Taqachiyat jutaskt nayax,

Ahora yo... de Taqachiya estoy viniendo yo,

今おれは……タカチャから戻ってきているんだおれは、

kuna waynamampi ikiskst akanx, kuna waynamampi ikiskst.

¿con qué tu joven te estás durmiendo aquí?, ¿con qué tu joven te estás durmiendo?

お前はどの若い愛人とここで寝てるんだ？お前はどの若い愛人と寝てるんだ？

Jichhaw näw Taqachiyat jutaskt” satänay.

Ahora yo de Taqachiya estoy viniendo” había dicho pues.

今おれはタカチャから戻ってきてるんだ」と言ったのだとさ。

No había llegao.

帰ってきてなかったんだと。

Entonces... chhä uka si “purinxarakinsti ikisipkarakiyätasä, khitirakípach ukäx” así.

[Entonces...] ahora ese ha dicho, “y ya ha llegado también, nos hemos dormido también pues, quién ha debido ser pues ese” [así].

そうして、そいつは [女は] 言った、「でももう帰ってきていたのに、一緒に寝たのに、あれはいつたい誰だったのだろう」と。

Entonces ya ha pasado eso.<sup>28)</sup>

そして、もうそういうことが起きた。

De poco rato ya con barriguita ha parecido la mujer, dice.

すぐにもう女はお腹が大きくなったんだと

Y después ya se ha enfermao, dice. Con su wawita se ha enfermao, dice.

そしてもう妊娠したんだと。子供を妊娠したんだと。

Después había mirado su wawa, había mirado su wawa,<sup>29)</sup>

そして、自分の赤ん坊をじっと見たんだと、自分の赤ん坊をじっと見たんだと、

“aquí está tu wawa” diciendo, había nacido la wawa, había mirado su wawa...

「ほらお前の赤ん坊だよ」と赤ん坊が生まれたんだと、自分の赤ん坊をじっと見たんだと……

De ahí nomás se había muerto... la mujer. Se había muerto.

それからすぐに死んでしまったんだと、その女が。死んでしまったんだと。

Ha dejado la wawa así... rinka qhusila siempre rinka, rinka siempre<sup>30)</sup>,

子どもをこう残して…… [子ども (娘) は] もう真っ白な肌で青い目で、もう真っ白で真っ白で、

no era así negro... negro dice, blanco qhusila rinko siempre rinko, rinko,

肌の色がこう黒くないんだとさ、白くて目が青くて、もう真っ白で、真っ白で真っ白で、

¿conoces gringos? Así igualito dice.

お前は白人を見たことがあるか？あれと全くおなじなんだと。

Ha nacido la wawa. Y... wawa nomás ha dejao.

子どもが生まれて……、子どもだけ後に残したんだ。

Tenía su tía, dice. Una tía tenía... una viejita nomás ya era.<sup>31)</sup>

彼女にはおばがいたんだと。おばが一人いて……もう年をとっていたんだ。

Ha venido aquí, sabe venir, sabemos dar peras así.

ここに来たんだ、よく来ていたんだ、わたしがこうナシをよくあげてね。

Ese estaba criándose dice. Ese estaba criándose...

そいつが [そのおばが] 育てていたんだと、そいつがその子を育てていたんだ。

Ya estaba ya...ya... como ya grandecito ya, como Daniela ha estado ya...<sup>32)</sup>

もうね、もう、もう……大きくなって、もうダニエラみたいになっていた……

se ha muerto su tía. Se ha muerto.

おばが死んでしまったんだ。死んでしまったんだ。

Después la wawa... [Fujita: jiw...] Jiwxiw mama, jiwxiwa... y...<sup>33)</sup>

[Después la wawa... [Fujita: ha muert...]] Ha muerto la mamá, ha muerto ya, y...

そして子どもが…… [藤田：死んだ……] 母親がもう死んだんだよ、もう死んだんだ、で……、

mamitapax waw uñxatatayn jiwixix,

su mamita había visto la wawa, ya ha muerto.

その母親は子どもを見たんだそうだ、そして死んでしまった。

Había nacido la wawa, nasxatayn wawax, ukat jiwawayxatayn,

[Había nacido la wawa], ya había nacido la wawa, después rápido ya había muerto

子どもが生まれたんだそうだ、子どもがもう生まれたんだそうだ、そしてすぐに死んでしまったんだそうだ。

mirando eso jiwawayxatayn.

[mirando eso] rápido ya había muerto.

その子を見てすぐにもう死んでしまったんだと。

Jichha uka jiwatapatpi chikax ukhama...,

Ahora después de haber muerto ese pues, la chica así...

さて、そいつが死んでからというと、その女の子がこう……、

ya es... jach'äx, jichha jach'ax, ukat su tía también se había muerto.

[ya es...] ya era grande, ahora ya era grande, después [su tía también se había muerto].

もう……、もう大きくなって、今では大きくなって、彼女のおばも死んでしまったんだと。

Ha dejado la wawa. Y su tía, jiwxarakitayn.

[Ha dejado la wawa. Y su tía,] ya había muerto también.

子どもを後に残したんだ。そしてもう彼女のおばも死んでしまったんだと。

Tatapa aptasxatayn wawap, tatapa rikujis tatapaki uywasxix waw.<sup>34)</sup>

Su papá ya se ha alzado su wawa, su papá reconociéndola su papá nomás ya se ha criado la wawa.

彼女の父親がもう彼女を引き取って、父親が彼女を引き取って、父親がその子をもう育てたんだ。

Yast yast, ya debe tener quince veintici... veinte años así, ya más o menos.<sup>35)</sup>

さてそうして、もう15歳か25……20歳くらいになっているかな、だいたいね。

Se ha parecido, ¿dice ahora? Por sí nomás ha parecido, dice.<sup>36)</sup>

現れたんだとさ、今。いきなり現れたんだとさ。

Dice que tenía su tía pues, hablaba, venía aquí, jutānay akharux ukat qunt'asiskir akhar,

[Dice que tenía su tía pues, hablaba, venía aquí,] venía acá, después sabe estar sentada acá,

おばがいたんだとさ、話して、ここに来て、ここに来たんだ、そしてここによく座ってたんだ

pera waxt'asipkir, pera recogiendo, sabe estar comiendo. [Fujita: aka utaru?] Ü.  
sabemos alcanzar pera, [pera recogiendo, sabe estar comiendo]. [Fujita: ¿A esta casa?] Sí.  
いつもナシをあげると、ナシを受けとっていつも食べていたんだ。[藤田:この家に?] そうだよ。

Ukat jichhax sipi sapxi. "Sartw" siripi, "sartw jawas piliri, sart..."<sup>37)</sup>  
Después ahora dice pues, dicen. "He ido", sabe decir pues, "he ido a pelar habas, he ido...  
そしてさて、こう言うんだとき。「わたしは出かけたんだ」とよく言うんだよ、「ソラマメをむき  
に行ったんだ、行って……

piliriw sart, jawas q'ipt'iriw sarta", dicepi, jawas q'ipt'iri.  
a pelar he ido, a cargar habas he ido", dice pues, a cargar habas.  
むきに行ったんだ、(収穫した)ソラマメをかつぎに行ったんだ」と言うんだ、ソラマメをかつぎに。

"Jawas q'ipt'awayt jutaskt...  
"de paso habas he cargado, estoy viniendo...  
「ソラマメをかついで、戻ってきて……

kuka tar armasiwätät" si, kuka tari, para mascar, armasiwätät" siw.  
la tari para la coca me había olvidado", dice, la tari para la coca, para mascar, "me había olvidado",  
dice.  
コカを包む布(タリ)を忘れたことに気づいたんだ」と言うんだ、コカを包む布、噛むためのね、  
「忘れたことに気づいたんだ」と言うんだ。

Uk aptasiriw kutt'anitayn, kutt'anisin, kutt'anisin, ukat  
A alzar eso había vuelto un rato, volviendo, volviendo, y  
それを取りにちょっと戻ってきたんだと、戻ってきて、戻ってきて、そして、

chikaru sawaypachaw, "phayätaw" sas.  
ha debido decir de paso a la chica, "vas a cocinar" diciendo.  
娘には「用事を」言い残しておいたのだろう、「料理をしておくんだよ」と。

Ukat kuka tarip<sup>38)</sup> armasipay ukat kutt'anitayn.  
Después su tari de coca se ha olvidado y había vuelto un rato.  
そして、自分のコカを包む布(タリ)を忘れて、ちょっと戻ったんだと。

Ukat cuando mä jach'a vivorakiw ukhan...  
Después una vívora grande nomás ahí...  
すると、一匹の大きな蛇ばかりがそこに……

Pichikan jach'a pichikaniñ uka chika, jach'a pich'ikani ukat thuru pichikapa, thuru.<sup>39)</sup>

Ha tenido trenza, tenía una trenza grande esa chica, ha tenido trenza grande, y gruesa su trenza, gruesa.

三つ編みがあって、大きな三つ編みをしていたんだ、その娘は、大きな三つ編みをして、彼女の三つ編みが太いんだ、太いんだよ。

Ukat uka mä qala utjkipi utan, mä qala utjpachaw ukat apnuqat siy.

Después esa una piedra había nomás pues en la casa, una piedra ha debido haber, después estaba colocado en el suelo, dice pues.

そしてその、石が一つ家にはあったんだとき、一つ石があったはずで、それが地面に置いてあったんだとき。

Uka qalar muytatakiskatänaw vivorax, una vívora,

A esa piedra había estado rodeando nomás una vívora, [una vívora],

その石にもう巻きついてたんだとき、蛇が、一匹の蛇が。

grande así... así... así wali thuru, pichikanpach pichikan...

[grande así... así... así] bien grueso, ha debido tener trenza, ha tenido trenza...

大きくて、こう……こう……、とても太くて、三つ編みをしてたに違いない、三つ編みをしていて、

Igualito la chica que tenía, así pichika más estaba dice, así la chica.

娘の三つ編みとまったく同じように、こう三つ編みになっていたというんだ、その娘がこうね。

No sé qué nombre había tenido, no parecía dice.

[その娘が] 名前を何と言うのかは知らないんだ、姿を現さないんだとき。

“Ay, ¿qué habrá pasado, no?” diciendo, así nomás se había ido la su abuelita...,

「ああいったい何が起きたんだろう」と、もう出ていったんだと、娘のおばあちゃん……

su este... [Fujita: su tía] su tía. Así me ha contao. “Estaba vívora”, dice.

娘のその…… [藤田:おばさん] おばさんが。私にそう話してくれたんだ。「蛇になっていたんだ」と。

Ese vívora que ha parecido, uñstkixa arumaxa uka siñuraruxa,<sup>40)</sup>

[Ese vívora que ha aparecido,] ha aparecido en la noche a esa señora,

その現れた蛇、夜になってその女性の前に現われた蛇が、

chachapa sari viajir, ukat jichhax aruma uñstki ukat “ikxañän” sas ikxapxixa,

su marido ha ido a viajar, y ahora en la noche ha aparecido, y “ya dormiremos” diciendo ya han dormido,

夫が遠出をして、そして夜に現われて、そして「もう寝ようか」と言って二人でもう寝て、

ukay ukätánaxa. Eso había hecho tener wawa. ¿Sí?

ese pues había hecho eso. [Eso había hecho tener wawa. ¿Sí?]

そいつがそうしたんだと。そいつが子どもを産ませたんだと。いいかい？

Eso... eso ha nacido, esa... chica.

それが……それが生まれたんだ、その……娘が。

Por eso mirando la wawa... uñxatasch waw, jiwťawayxarakitayn tayka.

[Por eso mirando la wawa...] habrá mirado la wawa, ya había muerto también la madre.

そして子どもをじっと見て……子どもをじっと見たのだろう、[そして] もう母親が死んでしまったんだと。

Así es el cuento, otro grande cuento también es eso<sup>41</sup>. Algunos no me acuerdo.

そういう物語なんだ、これも別の大きな物語なんだ。幾つかはもう私も覚えていない。

Su tía sabe contarme, así así diciendo. [Fujita: Su tía de la chica.] Sí.

彼女のおばがいつも話してくれたんだ、こうでこうで、と言ってね。[藤田: その娘のおばさんが] そう。

“Cuando dormimos”, dice, en la cama los dositos con la chica,

「一緒に寝るとき」と言ってね、ベッドでその娘と二人で、

dice que ya sabe pues la tía.

もうそのおばは分かるんだと。

Entonces dormiendo pues, ratuk “imilla, imilla sartam,” diciendo, dice que ya toca,

[Entonces durmiendo pues,] rápido nomás “chica, chica, levántate” [diciendo, dice que ya toca]

そして眠っている時に、いきなり「娘、娘、起きなさい」ともう触ると、

cuando ch’uñu no... ch’uñu nomás, vívora nomás está dormiendo dice.<sup>42</sup>

ヒヤッと冷たい……もうヒヤッと冷たくて、もう蛇になって眠っているんだと。

Ya sabe dice, ya sabe.

[おばは] もう分かるんだと、もう分かるんだ。

“K'achitat saraqawayxt” siy, “anq mistsuwayxirít” siy,  
“Despacito ya bajo” dice pues, “afuera ya sé salir” dice pues,  
「私はそーっと下にもう降りるんだ」とさ、「いつも外にもう出ていくんだ」とさ、

“thayäskst kuna, mistsuwayxt yaqhar ikir sarxt” siw.  
“me hace frío y todo, ya he salido de paso, a otro lugar para dormir ya he ido” dice pues.  
「寒かったりするんだけど、さっと外にもう出て、別の場所にもう寝に行ったんだ」と言うのだ。

Sabe parecer, dice.  
いつも姿を現すんだと。

Después a poco rato la chica nomás parece también.  
それから少しすると、その女の子ばかりが姿を現すんだと。

Así. ¿Cómo será, no? Así dice, así cuento es.  
そういうことだ。どういうことなんだろうね？そう言うんだ。こういう話なんだ。

No es en el pueblo, aquí arriba, pueblo lejito es, más adentro había..  
これはこの集落ではなくて、ここから上の方角の、ちょっと離れた集落で、もっと中の方に入  
た……<sup>43)</sup>

Qullana es, ahí, pueblo. Después más abajo había entrado pues a aporgar tuna.  
コリヤーナは、そこにある集落だ。そして、もっと下の方へと、トゥナの土寄せで入っていった  
んだ。

Ahí ha pasado pues eso. Sí. Del monte ha pasado eso. Sí.  
そこでこれが起きたんだよ。低い方に下った地域で、これが起きたんだ。うん。

Como te digo, así ha pasado. Ese también ese es cuento también.  
繰り返すが、こういうふうに起きたんだよ。これも一つの話なんだ。

Esos cuentos no me... no me he olvidado.  
わたしはこれらの話は忘れていない。

Así su tía contaba pues. “Así parecía” diciendo.  
このように彼女のおばが話してくれたんだ。「こういう姿で現れる」と。

El ojito, no es como nuestro, nuestro ojo no es.  
その目はわたしらの目のようじゃない、わたしらの目じゃないんだ。

Otro... así rurundo [redondo] nomás es.

それとは違う……こうひたすら丸いんだ。

No es nuestro ojo, es una... este es, no es... de la chica no es así, rurundo es.

わたしらの目じゃなくて、その娘のはそうじゃなくて、丸いんだ。

Como rurundo así, rurundito es. Así es.

こう丸いかんじで、丸いんだ。そうなんだよ。

Cuando miramos, “¡qué me miras!” así sabe decir,

わたしたちが見つめると、[娘が]「なに見てんだよ！」といつも言うんだ、

chiquita pero sabe reñirse. Sí.

[娘は] 小さいんだけど、いつも怒るんだ。そう。

Así [riéndose]. ¿Qué será no? ¿Qué será no?

(笑いながら) そういうことだ。どういふことなんだろうね? どういふことなんだろうね?

村にきていた蛇娘 (その2—アスタ・タピア・デ・アルバレス)

録音年月日—2009年10月11日

録音場所—リオ・アバホ地方ユパンパ村のアスタの自宅の中庭で

(Fujita: ¿Eso también has aprendido de la gente que baja de arriba?)<sup>44)</sup>

(藤田: それも上から降りてくる人から教えてもらったの?)

Jä...eso... jan amtaskt. Kunjamas ukaxä...

No... eso... no me acuerdo. Cómo era eso...

いや……それは……覚えてない。どうだったっけ……

Aaa... ukax... ukax janiw jach'äkiti, jisk'itakiw. Estew. Esteruw ukar...

Aaa... eso... eso [el cuento] no es grande, pequeño nomás es. Este es. A ese...

ああ……それは……それ [その話] は長くないんだ、ちょっとした話なんだ。これだよ。あそこへ……

Tunas chaqurixay<sup>45)</sup> sarapchitänax, tunas chaquri.

A aporgar tuna habrían ido, a aporgar tuna.

トゥナの草とりに行ったのだということだろう、トゥナの草とりに。

Ukat tunas chaquri sarasin munt, ukhamaw, ukham parkiruw makhatapxtanax.<sup>46)</sup>

Después yendo al monte para aporgar tuna, así es, así cuesta arriba habían entrado.

そして、トゥナの草とりに標高の低い方に行って、そうなんだ、そう標高の低い地域に入っていたんだと。

Ukat jichhax ukä mun... ukä parkinx ukat Taqachiya ukhitankix,

Después ahora, ese monte..., en ese monte, está en ese lugarcito Taqachiya,

そしてさて、その……その標高の低い土地に、その場所にタカチャの村があるんだ。

Taqachiy sataw mä pueblo, pueblituw Taqachiya.

Taqachiya se llama un pubelo, es un pueblito Taqachiya.

タカチャと呼ばれるんだ、ある集落が、小さい集落なんだタカチャは。

Ukan taqikunaw utji alasiña, pirasa utji, uwa utji, higu utji, ukhamaw.

Allí todo hay para comprar, peras hay, uva hay, higo hay, así.

そこではあらゆるものが買える、ナシがあって、ブドウがあって、イチジクがあって、そうなんだ。

“Uk alanī ukat alt’aniwayä, sarä naya Taqachiy” sas warmir jaytawatānax,

“Eso compraré, después de paso compraré, iré yo a Taqachiya,” diciendo a la mujer había dejado

「それをおれは買おう、買ってこよう、おれは行こう、タカチャへ」と、[夫は] 妻を後に残して出かけた。

uka asnitump ukhamä warmiy.

con el burro así la mujer.

ロバと一緒にそのように妻のことを。

Ukat “qharüruw, este... jayp’üruw mistsunxakiw,

Después, “mañana, este..., en la tarde voy a salir nomás,

そして「明日その……夕方にもう [タカチャを] 出発してくるよ、

jan puyrxä arumanthix mistsunxchi” sas.

si no puedo mañana ya saldría” diciendo.

もしもうだめだったら [遅かったら]、朝にもう出発するだろう」と。

Jichha ukat ya sarawaychi, chhaqä... chhaqät

Ahora después ya iría, perdido..., perdido...,

さてそして、もう出かけただろう、いなくなって、

jayp’u puri, janiw, chhaqat chhaqat sapak warmiw suyaskchi.

llega la tarde, no, perdido perdido, solita nomás la mujer estaría esperando.  
夕方になって、いやいない、女はたった一人で待っていたのだろう。

Ni kunas utjkchit. Jan kun utjkipanay, ya niyá las diez de la noche,  
No habría ni nada, (después) que no haya nada, ya a las diez de la noche,  
なにもない、なにもなくて、もう夜の10時になって

“Ay ikxaki jichh, qhartiru jichh jutaskan” sas warmix ikxchi.  
“Ay me dormiré nomás, mañana seguramente estará viniendo,” diciendo la mujer dormiría.  
「ああもう寝てしまおう、明日に帰ってくるんだろう」と、女はもう眠っただろう。

Ukarukiw purxanx siw siy, igualaki chachapamp, iwalituki, iwalituki.  
A eso nomás ya ha llegado dice, dice pues, igual nomás con su marido, igualito nomás, igualito nomás.  
すると、もう帰ってきたのだそうだ。彼女の夫とただそっくりで、ただそっくりで、ただそっくりなんだ。

Ukat “ä purinxatati,” sas, “purinxat,” sas, “ukhama (x) manq’asiñän,” sas manq’asipxchi.  
Después, “ä, ¿ya has llegado?,” diciendo, “ya he llegado,” diciendo, “así nos comeremos,” diciendo comerían.  
そして「妻が」「ああもう帰ったの？」と、[男が]「もう帰ったよ」と、「それなら食事しましょうか」と二人で食事をしたのだろう。

Yast manq’asin, “ikxañän,” sas ikxapxchi.  
Comiendo, “dormiremos,” diciendo dormirían.  
もう食事をして、「寝ましょうか」と言って、一緒にもう寝たのだろう。

Qhipärmirxa sartatän siw warmix,  
El día siguiente se había levantado, dice, la mujer,  
翌朝に女は起床したんだと、

ni khitis kunas utjkchiti ikiñan, purinxarakins chhaqatarakis.  
ni quién ni nada habría en la cama, ha llegado también, perdido también.  
誰も何もベッドにはいなかったのだろう、もう帰ってきて、またもういなくなつて。

“Alwat mistuwayxpachänä” sas, sas, yast...,  
“De madrugada ha debido salir de paso” diciendo, diciendo...,  
「朝早くに出ていったんだろうか」と言いながら、言いながら……

ukhamaruw niyā nuiwi ni ocho ukhanakaw purinxatayn siy chachax,  
a así ya nueve ya ocho a esas horas había llegado ya dice pues el marido,  
そうして、もう9時とか8時とかそういう時刻に、もう帰ってきたんだとき、夫が。

estit..., “Taqachiyat purxt, Taqachiy markat purxt,” sasin.  
de este..., “De Taqachiya ya he llegado, del pueblo de Taqachiya ya he llegado,” diciendo.  
ここから……「タカチヤから、もう帰ってきたぞ、タカチヤの集落からもう帰ってきたぞ」と言  
いながら。

“Purinxarakiyātas piri, akankxarakiyātasä,  
“Ya has llegado también pero..., ya estabas aquí también pues,  
「でもあなたもう帰ってきたじゃない、ここにもういたじゃない、

kawkrak jichhärmanthit alwat mistsuwaytast,” sas.  
y ¿a dónde pues esta mañana de madrugada has salido?” diciendo,  
で、今朝早くにどこに出ていったのよ？」と [妻が] 言って、

“Karaju janiw näx purinkt, kuna waynama jutaskchi, janiw nayax purinkt.  
“carajo, no he llegado, qué tu amante estaría llegando, yo no he llegado,  
「このやろう、おれは帰ってきてないぞ、どの若い愛人が来ていたんだ、おれは帰ってきてないぞ、

Jichhaw nayax jutaskt” satānaw siw.  
ahora yo estoy viniendo” había dicho dice.  
今おれはやってきたんだ」と言ったんだそうだ。

“Jichhaw jutaskt nayax, jichhaw purisinkt” sas,  
“Ahora estoy viniendo, ahora estoy llegando” diciendo,  
「今おれは帰ってきたところなんだ、今着いたところなんだ」と、

“kuna waynamampix, kuna waynamax jutaskchi” sas, así,  
“con qué tu amante, qué tu amante estaría viniendo” diciendo, así,  
「どのお前の若い愛人と……、どのお前の若い愛人が来ているんだ」と、そういうことで、

tuqitān yast ukat, ukat yäst ukhamä.  
le había reñido, ya después, ya después así.  
彼女を叱りつけたんだそうだ、そうしてもう、そういうことだ。

Ukat warmix usuri uñstawayx siw, usuri.  
Después la mujer se apareció embarazada dice, embarazada.

そして女は妊娠していることが分かったのだと、妊娠して。

Ukat yast, ukat wawachasxchi, wawachasisin, yast usu wawachasxchi.

Después, después daría luz. Dando luz, la mujer embarazada daría luz.

そしてもう、そして主産したのだろう、出産をして、もう妊娠して出産したのだろう。

Ukat jichhax wawax, walí ringa qhusiw, qhusilapiniw<sup>47)</sup> sipiy, ringa, ringapini.

Después ahora la wawa, bien gringa, gringa, gringa siempre dice pues, gringa, gringa siempre.

そしてさて、子どもは、色が真っ白で、白くて、真っ白なんだそうだよ、白くて、真っ白で。

Ñik'utapas wilapini, wila, wawax.

Hasta su cabello rojo siempre, rojo, la wawa.

彼女の髪の毛は真っ赤で、赤いんだ、その子は。

Ukat uñatchi waw, wawa nasxchi ukat uñataschi waw yast,

Después miraría a la wawa, la wawa ya nacería y después miraría a la wawa,

そして子どもをじっと見たんだろう、子どもが生まれただろう、そして子どもをじっと見たの  
だろう

uk uñatsay mamapax jiw'tawayx siy tayka.

mirándola a ella pues su mamá ha muerto dice, la mamá.

その子をじっと見てさ、彼女の母親はもうすぐに死んでしまったんだとさ、母親が。

Jiwawayxiw siy.

Ya ha muerto dice.

もう死んでしまったんだとさ。

Wawakiy kirasiwayx siy. Mā tiapa utjatayn, tiapa.

La wawa nomás se ha quedado dice. Una tía suya había habido, su tía.

子どもだけが後に残ったんだと。とある彼女のおばという者がいたんだと、彼女のおばが。

Uka tiapaw uka waw uywaskāna.

Esa su tía estaba criando a esa wawa.

その彼女のおばが、子どもを育てていたんだ。

Ukat tawaqūxānway niy, jiwawayxarakiw ukax, ū uka tiapax.

Después ya fue jóven ya, ella también ha muerto, esa su tía.

そして、もう若い娘になって、その人ももう死んでしまった、そうそのおばが。

Ukat tatapaw uywasiskäna uk, Qullanan.

Después su papá la estaba criando a ella, en Qullana.

そして彼女の父親が面倒を見ていたんだ、コリヤーナ村で。

Ukhamaw. Uka kunjamäxchix. Chhaqataw sasaw sasipkän, no sé.

Así es. Eso ¿cómo sería ya? Perdida diciendo decían, no sé.

そういうことだ。これは、今ではどうなっているんだろう？ [この娘は] もういないと人々は言っているけど、わたしにはわからない。

Ukhamakiy, así nomás es eso, así.

Así nomás es pues, [así nomás es eso, así].

もうそういうことさ、もうそれはそういうことだよ、そういうこと。

## 注

- 1) ファン・デ・ディオス・ヤビータは、1931年にチチカカ湖畔の村コンピ（Compi）で生まれ、若い頃はビジネスに関わる機会もありながら、アイマラ先住民出身のアイマラ語の専門家として、1969年より、マーサ・J・ハードマン（Martha J. Hardman）が主導する米フロリダ大学でのアイマラ語教材作成プロジェクト（Aymara Language Materials Program）に協力した。ボリビアでは上記 ILCA を立ち上げ、国立サン・アンドレス大学（Universidad Mayor San Andrés）の先住民言語学の教授として、数多くの後続するアイマラ先住民知識人の世代にアイマラ語の仕組みと文字による書き方を教え続けた。実物の現存が確認できていないが、かつてアイマラ語による新聞 *Yatiñasawa* を刊行していたことでも知られ、アイマラ語の詩人としても知られている。妻のイギリス人類学者デニズ・アーノルド（Denise Arnold）とフィールドワーク先の村の出身のエルビーラ・エスベホ・アイカ（Elvira Espejo Ayca）とともに、数々の重要な著作を刊行してきた。藤田は、イギリス人の人類学者オリビア・ハリス（Olivia Harris）にヤビータ氏について教わり、2006年に彼を訪ねてアイマラ語を教わるようになり、最初は週1回の授業を受けつつ、その後は近年まで時折訪問することを続けていた。2020年6月5日に亡くなった。

ヤビータ氏は、強い自立心をもちつつ、たいへん言葉の感覚の細やかな方で、自身の言語について幾度となく問い直し、常に何らかの興味深いアイマラ語の表現について考え続け、藤田が訪問するとその話を共有してくれた。生前に十分な成果をお見せできなかったが、本稿も含めた取り組みがアイマラ語を豊かなものにしていくという氏の志に応えるようなものであることを願う。

- 2) 以下の3段落では、藤田（2014）の pp.41-42 にかけての議論を、より詳細に展開する。
- 3) イモというのは、この場合、ジャガイモ（ch'uqi）とオカ芋（apilla）のことを指し、ジャガイモからは乾燥させた黒いチューニョ（ch'uñu）と流水にさらして白くしたトゥンタ（tunta）の二種類の乾燥保存食が作られる。オカ芋の乾燥保存食はカヤ（kaya）と呼ばれる。
- 4) アスタの家は、果物の収穫期には、チチカカ湖畔の高原地帯の村の市まで、複数回物々交換に出かけている。録音を始めてしばらくして、コリヤーナ村からの物々交換は来なくなったそうだが、チチカカ湖畔の村への物々交換は今でも毎年出かけている。

- 5) このトードス・サントスは、アスンタの死んだ夫も含め、アスンタの家ではなく隣接するメカパカ市の中央広場に面してある、その夫の弟の家で行われ、アスンタの家族もその家に出かけて準備を手伝う。

この年に何を料理したかは、残念ながら記録していないが、死者が好んでいた食べ物を準備して迎え入れることになっており、豚肉のトゥガラシペーストを用いたスープであるフリカセ (fricasé) が準備されることが多かった。

- 6) これらは未公開資料であるが、そこで (アンデス・) スペイン語が用いられる場合は、むしろ登場人物 (たち) がスペイン語で話していたのではないかと考えられる場面が多く、アスンタが私に語るにあたって言語の選択で迷っている録音は、これが唯一かもしれない。
- 7) これもまた、あまり知られていないことであるが、ボリビアのアイマラ語圏の先住民言語とスペイン語の二言語話者のスペイン語では、過去の事柄について言及する際に、点過去が極めてシンプルな定型的表現を除いてはほとんど使われず、現在完了と線過去と (ここで扱ったような間接証拠を示すための) 過去完了が頻用される。(Mendoza 1992:125) では、ボリビアのアンデス地域のスペイン語においては点過去が現在完了で替わられつつあるという記述がみられるが、かつては点過去が広範に使われていたという証拠は示されていない)。このようなアイマラ語とスペイン語の接触の研究は、ケチュア語圏を中心に行われてきたスペイン語との言語接触 (contacto lingüístico) の研究に新たな光を投げつつ、アイマラ語圏のスペイン語についても、より多くのことを明らかにできる可能性があるだろう。
- 8) ただしこれは、ファン・デ・ディオス・ヤピータから藤田が聞いていた話とは違うようだ。記録が確認できないが、藤田の記憶では、ファン・デ・ディオスは藤田に対し、近接過去はスペイン語の線過去が対応すると思うと、何度か過去に話してくれた。
- 9) 藤田はファン・デ・ディオス・ヤピータ氏の示唆に合わせ、スペイン語の過去未来形でこれを訳しているが、これはアンデス・スペイン語において一般に確立している形式ではない。
- 10) これは古典日本語において藤井貞和が提唱する「研究語訳」の考え方に近い (藤井 2004)。ここでは全ての助動詞と助詞を現代語に訳出することが目指されている。
- 11) “Jat’ir es remover la tierra, o sea ponerle, a la planta de papa o a la planta de tuna, ponerle un poquito más de tierra... también sacar hierbas.” (Yamile) “Aporgar, dice.” (Carlos) (19 de octubre de 2009)
- 「それは土を起こして、つまり、ジャガイモやトウナの株に、もう少し土を寄せてあげて、雑草も抜くんだ」(ヤミレ:アスンタの長女の娘)、「スペイン語では aporgar って言うんだ」(カルロス:アスンタの末娘の息子) (2009年10月19日聞き取り)
- jat’iña 「肌を爪で引っかく動作」(Layme Pairumani 2004[1991-92]:80)
- aporgar は、スペイン語の辞書では aporcar という語形で載っている。
- 12) ここは複数で話が始まっているが、実際には出かけたのは夫ひとりである。
- 13) ここでは「男に」と言っているが、実際には「男が」話している。
- 14) 話を聞いているアスンタが住むユーパンパの村は、チョケヤブ川の渓谷に位置しているが、川の同じ側の、より標高の高い山の上にも村が連なっており、タカチャの村はユーパンパと同じ側の山の上の、しかし少し川沿いに下ったところに位置する。
- 15) スペイン語の動詞 visitar が元になった動詞 visitaña である。音がアイマラ語化されると wisitaña となるが、ここでは v で発音されている。スペイン語とアイマラ語どちらの音で発音するかは、その時々で揺れがある。

irmanu < hermano (スペイン語) は「兄弟」という意味で使われることが多い単語だが、アイマラの人々の間では「神父」の意味で頻繁に用いられる。アスンタの次男は、この地域のプロテス

- タント教会の敬虔な信者であり、その教会の神父の農作業を手伝いに行ったりしている。
- 16) ここは *había aparecido* と言いそうなところであるが、Asunta は *había parecido* と言っており、この言い方は以下に数度出てくる。これはアイマラ語話者においては比較的広く見られる使い方であり、後ろに見えるように、Asunta がアイマラ語で話す際には、この動詞は *parisiña* として使われている。
- 17) この聞き起こしを助けてもらったファン・デ・ディオス・ヤピータ (Juan de Dios Yapita) は、自分ならば *chachap* と言うと述べたが、Asunta は *chachapamp* と言っている (com.pers. 19 de octubre de 2009)。
- 18) 聞き手 (藤田) の方を見ながら、このように言っている。
- 19) 下を向きながら、このように言っている。
- 20) 時刻を言う際には、ここでのように前置詞の *a* が省略されることが多い。
- 21) ここは声のトーンに相手を問い質すニュアンスが込められている (com.pers. Filomena Nina Huaracacho, 28 de febrero de 2013)。スペイン語の文に、アイマラ語で使われる最後の母音が延びることを示す記号を付け、さらに疑問符をつけてある。
- 22) この後に *s(a)s* と言っている可能性があり、その場合は *ayuraskt* で引用は終了し、直後の *ukat jan jutktt* がもう一つ別の引用句 (発話者は夫) となるが、極めて微弱で *s* の音が紛れ込んだだけかもしれない。また、言おうとしてまだ夫の言葉が終わっていなかったことに気付いて飲み込んだのかもしれない。
- 23) ここではアイマラ語の動詞に再帰の接尾辞 *-si* がついており、これは自分たちにその行為の恩恵が及ぶときに使われるとされている。そのため、アイマラ語圏ではスペイン語でも *nos comeremos* と言うが、これは [他の地域のスペイン語で連想されるように] お互いに相手を食うことではない。
- 24) *arumirja* は後ろで使われる *armanthi* と同じで「朝」を意味し、*qhipa* と結びついて *qipärmiruja* で「翌朝 (en la mañana siguiente)」という意味になる。 (com.pers., Juan de Dios Yapita, 19 de octubre de 2009)
- 25) *ch'amakthapi* は「まだ暗いうちに (*a la oscuridad todavía*)」という意味で、この箇所では最後の母音が脱落している。 (com.pers., Juan de Dios Yapita, 19 de octubre de 2009)
- 26) ここは時刻を言おうとしたのかもしれない。
- 27) 本来は夜訪れてきた男がいなくなったと言いそうな箇所ではあるが、*desaparecer* とは言っていない。だとすると、本当の夫が朝になって帰ってくることを、先取りして言っているのかもしれない。
- 28) この行は、それまでの物語の内容をまとめるはたらきをしている。  
また、この行から先の数行は、スペイン語の過去完了ではなく、現在完了に動詞 *dice* を組み合わせる形が用いられている。両方とも伝聞を示す間接証拠の形式であるが、ここではちょうど、現実にあった話に向かっての物語の継ぎ目の部分に差しかかっており、何かこの形の違いに、現実との近さの意識が関係している可能性があるかもしれないが、この箇所だけで決定的なことを言うのは尚早であろう。
- 29) *wawa* はアンデス地域のスペイン語で「赤ん坊 (*bebé*)」の意味で広範に使われる単語である。  
また、ここで「じっと見る」という表現が繰り返し用いられている (二度目の録音のテキストでも同じ箇所が強調されている) ことに着目すると、母親は子どもが蛇で (も) あることを生まれた瞬間に気づき、そのために死んでしまったのかもしれない。
- 30) *qhusila* 「目が青く透明な色をしている様」 (Layme Pairumani 2004[1991-92]:156)。rinko/rinka は *gringo/gringa* のアイマラ語の音韻体系に影響された発音である。

また、この行から、アイマラ語の間接証拠性を示す遠隔過去 (remoto lejano) に対応する、スペイン語の過去完了に代わり、アイマラ語の直接証拠性を示す単純形 (forma simple) または別名現在過去形 (presente-pasado) に相当する、スペイン語の現在完了が使われるようになる。この後で何度か話が行ったり来たりして、動詞の形が変わるのだが、この箇所が最も重要な転換点である。

- 31) この年齢の説明からするに、この「おば」というのは、娘のおばではなく、母親のおばであるようだ。
- 32) ダニエラは、アスンタの長女の一番下の娘であり、この録音の時点では 12 歳であった。
- 33) 藤田はここでアイマラ語に戻るよう促したのだが、アスンタは母親が死んだところから自分の語りがスペイン語になっていたことを思い出したようで、そこまで戻って語りなおしている。
- 34) rikujña はスペイン語の recoger 「引き取る」 からきている。
- 35) この yast という表現は、アイマラ語の語りで頻繁に使用されるのだが、その意味とはたらきが十分に分かっているわけではない。スペイン語の ya está からきているようであり、そこまでの物語に対し、何かしら区切りをつけ、確認するというはたらきをもつのではないかと考えている。
- 36) ここまでの 2 行は、今現在の話なのだが、この次の行から娘のおばがまだ生きていた時代に戻る。娘が蛇なのではないかというエピソードを語り忘れたことに気づいて戻ったのではないかと思われる。
- 37) この行からは、おばに話を聞いた内容を語るもので、直接話法と、遠隔過去の形が組み合わさった表現が用いられている。直接話法の後ろに動詞「言う」が直接証拠性を示す単純形 (現在・過去形) で用いられているので、娘のおばから直接聞いた話であることがみてとれる。
- 38) 音としては tarap と聞こえるのだが、単語は tari なので、そのように表記しておく。
- 39) 前の行で一回、家におばが戻ってみたら、大きな蛇がいたという話に進んでいるのだが、この行ではいったん戻って、元々の娘の髪の様子を描写するところから始めている。
- 40) ここでアスンタは、物語の全体の筋をもう一度振り返っている。すなわち、ここの蛇は、娘が姿を変えた蛇ではなく、物語冒頭の夫の留守に妻を訪れてきた方の蛇である。
- 41) この物語を録音する前に、アスンタは藤田にチョケル・カミル・ウィルニータの物語をスペイン語で語って聞かせてくれており、その物語との関係からこの発言が出てきている。このスペイン語で語られたバージョンは録音されていない。
- 42) この行で ch'uñu とあるのは、ジャガイモの乾燥保存食のチューニョのことではなく、「ヒヤッと冷たい」という意味である。
- 43) この adentro 「中」というのは、標高の低い方角を指している。
- 44) これは、チョケル・カミル・ウィルニータの物語を語ってもらった直後であり、ここで私はチョケル・カミル・ウィルニータの物語もコリヤーナ村からリオ・アバホ地方に物々交換に下ってきた人から教えてもらったのかと質問したのだが、どうもアスンタはこの蛇娘の話の方を、その村の人から聞かされていて、そちらに連想がいったようで、話をもう一度簡単に語りなおしてくれる運びとなった。
- 45) chaquña 「草刈りをする」 (Layme Pairumani 2004[1991-92]:46)
- 46) アイマラ語の munti、スペイン語の monte が指し示す場所は、高い山の上ではなく、アンデスの渓谷部からさらに標高が低いところまで下がって行って、しかしまだ山がちな地帯を指している。この箇所からは、アイマラ語の parki、スペイン語の parque が、同じ意味で使われているらしいことがみてとれる。
- 47) qhusi: “bonita, blanca, ojo azul, pestañas grandes; se refiere al antiguo mundo de los hacendados” (Rodolfo Quisbert, 8 de julio de 2011)

## 参考文献

Coler, Matt

2014 *A Grammar of Muylaq' Aymara: Aymara as Spoken in Southern Peru*, Brill, Leiden and Boston.

Espejo Ayka, Elvira

1994 Denise Y. Arnold y Juan de Dios Yapita, eds. *Jichha nä part'ä / Ahora les voy a narrar*. Unicef, La Paz; Casa de las Américas, La Habana.

藤井貞和

2004 『物語理論講義』、東京大学出版会。

Fujita, Mamoru

2019 “Español en contacto con aymara en la zona de valle y de altiplano de La Paz, Bolivia: una comparación bilingüe de los textos de narraciones orales (cuentos)” Congreso Internacional I ALFALito “Dinámicas lingüísticas de las situaciones de contacto”, 29 de octubre, Universidad Autónoma de Madrid.

2016 "Explorando la evidencialidad y las voces en las narraciones orales aymaras" First Symposium on Indigenous Languages and Cultures of Latin America (ILCLA) and Third Symposium on Teaching and Learning Indigenous Languages of Latin America (STLILLA), 14 de octubre, Ohio State University, Columbus.

藤田護

2016 「南米ボリビアのラパス県溪谷部のアイマラ語口承テキストとその考察（1）一蛇の力を得た娘の伝承」、『京都ラテンアメリカ研究所紀要』第15号、115-152頁。

2014 「ボリビア・アンデスにおけるアイマラ語口承文学の躍動——ラパス市周辺の溪谷部における語りから」、『イベロアメリカ研究』第36巻、第1号、27-51頁。

Gallego, Saturnino

2008[1994] *K'isimira -I: gramática viva de la lengua aymara*, Radio San Gabriel, La Paz

García Tesoro, Ana Isabel

2018 “Valores del pretérito perfecto compuesto en el español hablado de Chinchero (Cuzco)”, en Roxana Risco (coord.), *Estudios de variación y contacto lingüístico en el español peruano*, Universidad Nacional de La Plata, La Plata, pp. 111-138.

Hardman, Martha J., Juana Vásquez, y Juan de Dios Yapita

2001[1974] *Aymara: compendio de estructura fonológica y gramatical*, Instituto de Lengua y Cultura Aymara, La Paz.

Hardman, Martha J. (editor)

1981 *The Aymara Language in Its Social and Cultural Context: A Collection of Essays on Aspects of Aymara Language and Culture*, University Presses of Florida, Gainesville.

Layme Pairumani, Felix

2004[1991-92] *Diccionario bilingüe aymara-castellano*, tercera edición corregida y aumentada, Consejo Educativo Aymara, La Paz.

de Lucca D., Manuel F.

1987 *Diccionario práctico aymara-castellano castellano-aymara*, Los amigos del libro, La Paz y Cochabamba

Mendoza, José G.

1992 *Gramática castellana. Con referencia a la variedad hablada en Bolivia*, Facultad de Humanidad y Ciencias de la Educación, Universidad Mayor de San Andrés, La Paz.

Stratford, Billie Dale

1989 *Structure and Use of Altiplano Spanish*, Ph.D. dissertation, University of Florida, Gainesville.



# BOLETÍN del

Instituto de Estudios Latinoamericanos  
de la Universidad de Estudios Extranjeros de Kyoto

Instituto de Estudos Latino-Americanos  
da Universidade de Estudos Estrangeiros de Kyoto

## 2020

### <ARTÍCULOS>

Cambios diacrónicos en las actividades relacionadas con la obsidiana y su intervención por el Estado teotihuacano

..... Shigeru KABATA 1

Sistemas de abastecimiento de obsidiana entre el Estado teotihuacano y las sociedades del valle de Toluca

..... Shigeru KABATA,

José Luis RUVALCABA SIL y Julieta Margarita LÓPEZ JUÁREZ 29

Retos para la autonomía comunitaria entre los municipios de la meseta purépecha, Michoacán

..... Munehiro KOBAYASHI 61

### <ESTUDIOS PRELIMINARES>

Análisis de los contextos asociados con esculturas en piedra llamadas yugos, hachas y palmas en el Centro de Veracruz, zona costera del Golfo de México

..... Mitsuru KUROSAKI 89

Desarrollo constructivo del complejo arquitectónico B1-1 en el área de Tazumal de la zona arqueológica Chalchuapa en la Región Sureste Maya

..... Shione SHIBATA 111

Estudios latinoamericanos en Japón antes de la Segunda Guerra Mundial ( II )

..... Toyoharu TSUJI 143

### <NOTAS DE INVESTIGACIÓN>

Excavation at Nixtun-Ch'ich', Guatemala: Exploring the Material Culture of the Chak'an Itza

..... Yuko SHIRATORI 167

Estudio arqueológico de los petroglifos e investigación para los museos comunitarios en la Costa Caribe de Nicaragua

..... Misaki FUKAYA, Hiroshi MINAMI,  
Shigeru KABATA y Madoka KAWASHIMA 193

Textos orales en aymara desde los valles del Departamento de La Paz, Bolivia: sobre una mujer de una comunidad vecina que da luz a una niña serpiente

..... Mamoru FUJITA 215

### <INFORME DE INVESTIGACIÓN>

El inicio de la alternancia en la elección local de México: el caso del Estado de Baja California

..... Tatsuya YOSHINO 243

### <RESEÑA DE LIBROS>

*La Guerra hispano-norteamericano-cubano-filipina: McKinley y su camino hacia el imperialismo* por Yoshikatsu Hayashi

..... Takashi USHIJIMA 249



Vol.

20